大正五年四月二十五日發行

婦人衛生雜誌

第三百十七號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百十七號目次

講演

○井戸と水道の話　醫學博士　横手千代之助

叢談

○子女の養護　ドクトル　三田谷啓

○春眠曉を覺えず

○身體と精神の健康(五)　醫學士　渡邊房吉

○種痘の效力は幾年間續くか

○健康の眞價

○腹痛に就て(承前)

育兒

○授乳の障碍

○子供の眼(承前)　莊司秋次郎

雜報

○看護婦養成所の指定

○東京醫科大學附屬醫院看護法講習生募集

○東京府の產婆試驗

○緬甸に聘せられたる二女醫

○日本トラホーム豫防協會

廣告

○本會入會者及轉居

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

稟告

本會役員會の決議に依り來月例會を休會し五。月。十。四。日。（第二日曜日）午。後。十。二。時。半。より神田區一ツ橋通共立女。子。職。業。學。校。大講堂に於て本會主催の下に音。樂。會。を開催致す事と相成候間何卒右御了承被下特に本會の爲め會員諸姉の御助力を仰度く別に御案内狀差出可申候へども豫め茲に之を稟告仕候也

大正五年四月

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會

設立趣意書

凡そ人として此世にありては徒に生けるのみをもて足れりとするにはあらずかならずや智識を磨き人たるの本分を盡くし幸福快樂のうちに一年を送らんと皆ともに希はざるはあらじされども其身健康にあらざれば此生活を得んこといと易からずこれ衛生の道の一日も忽にすべからざる所以なりとす

抑も〳〵衛生の法は一にして足らずとはいへども衣食住の改善育兒及看病法等の如きはいとも緊要の事にして皆吾等婦人のもつばら掌るべき所其責任重しと云ふべし今や婦人の會合相尋て起り婦人社會も漸く其の面目を改めんとするは眞に喜ばしきことなりされども夫の衛生の事に至りては更に注意を怠らざるもの丶如くまことに口惜しきことなり因りて頃日同志婦人集ひ謀り一會を設け名けて私立大日本婦人衛生會といひ毎月一回集會を開き學識經驗ある人々に衛生上諸般の講義演說談話を乞ひ互に相研究し尙之を筆記して册子を編輯し會員に分ち聊か同胞の爲めに盡すあらんとす玆に本會旨趣の梗概を敍べて廣く江湖の諸愛姉に告げ其贊成を仰ふぐこととしかり

明治二十年十一月　首唱者總代

私立大日本婦人衛生會規則摘要

（明治卅二年十二月改正）

第一條　目的　本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ漸て社會全般の幸福を增進するにあり●第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く●第三條　本會會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得●第四條　入會の節には姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込まるべし入會者には會員章を交付す（交付手續は卷末に詳なり）入會後轉居等あるときは速に事務所に報知せらるべし●第五條　會員を分ちて終身、特別及通常の三種とす、終身會員は一時に金廿五圓以上特別會員は一ヶ月金三拾錢以上、通常會員は一ヶ月金拾五錢を納むる者とす●第六條　男子にして本會の旨趣を賛成する者は之を贊成員とす其會費は本會會員に同じ但本會に功勞ある者又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる會員は役員の協議に依り無會費とすることあるべし●第七條　會員には本會に於て毎月發刊する雜誌を無料にて受ることを得●第八條　退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は本人親戚知友より通知せらるべし但既納の會費は總て返戻せず●第九條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の妃殿下に願出るものとす●第十條　本會に左の役員を置く　會長一名、副會長一名、幹事七名、評議員三十名、書記若干名●第十一條　會長副會長幹事評議員は滿年三月の總會に於て會員の投票を以て之を選擧し書記は幹事の推薦に依り會長之を命ず但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし●第十二條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄雜務を掌る幹事の分課を設け第一會計、第二編輯出版、第三庶務とす●第十三條　臨時指名委員の件●第十四條　會長副會長幹事評議員の任期は二ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺員を生ずるときは次點者を以て補缺す●第十五條　會長副會長幹事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す●第十六條　集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるべし又春秋二回會員相互親睦の爲め園遊會を開くことあるべし●第十七條　每會學識經驗ある人々に衛生上の講義演說談話を囑托し會員をして隨意聽講せしむるものとす●第十八條　會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會々場に誘致し講義演說等を傍聽せしむることを得（但衣服は總て質素たるべき事）●第十九條　講義演說等は男子の傍聽を禁ず●第二十條　規則の改正其他重要の件議定のこと●第廿一條　毎年三月總會に於て會計の收支決算並に庶務の概要會員の增減等を報告すべし●第廿二條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす●第廿三條　會計の收支は總て會計擔任の幹事檢印を要するものとす●第廿四條　會計は一ヶ年毎に決算し翌年三月總會に報告すべし

支會●第廿五條　地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得●第廿六條　本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載して申出べし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報告すべし本會會員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす●第廿七條　支會には支會限りの會員を置くことを得●第廿八條　本會の雜誌は支會に回送すべきを以て其實費を支會より本會に送付すべし支會限りの會員にして雜誌を請求する者に就きても亦同じ●第廿九條　支會は集會の都度其狀況を本會に報告すべし●雜件

第三十條　本會は毎月一回雜誌を發刊し之を會員に配附すべし●第卅一條　會員又は會員外の者にして金圓若くは書籍物品等を本會に寄附する者ある時は本會々長の名を以て謝狀を贈り寄附者の姓名及品目を簿冊に登錄し尙本會雜誌を以て報告すべし●第卅二條　會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に返信料を添へらるべし（郵券送一割增）●第卅三條　會費は東京府下に限り毎月領收人を差出すべし地方會員は總て前金とし振替にて口座番號東京一○六○○番本會事務所宛に振出しあるべし●第卅四條　會員中若し本會の障碍となるべき所爲ある者又は屢く會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議員會の決議を經て除名し若しくは廣告することあるべし

東京市麴町區富士見町二丁目卅二番地　私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第三百十七號
（大正五年四月二十日發行）

講演

井戸と水道の話

醫學博士　横手千代之助

私は今日井戸と水道と云ふことでお話を申上げやうと存じます、先づ順序と致しまして大體水に就て注意を致すべき事柄をお話して、さうして後に井戸と水道のお話を致したいと思ふのであります。

水は御承知の通り吾々の生活上缺くべからざるものである、食物は暫時の間缺くことが出來ますが、水は吾々は長く缺くことは出來ませぬ、殊に高等動物になりますると＝吾々の體に水の分量が少しく減りますと忽ち故障を起すので、人間に就て無論實驗は出來ませぬが鳥なぞで見ますと水を與へずに置きますと多少疲勞するやうな狀態になりまして直ぐに死にます、でありますから吾々の體も皆な同じことでありますので從つて日常水を飲まねばならぬのである、で水の效用は單に吾々が生活を繋ぐるばかりでなく總て衛生上に關係したこと例之種々物をば清潔にする點に於て清潔の水がなければ清淨を保つことは出來ませぬ、又吾々の食ふ食物は水がなければ製ることの出來ぬ萬端のことに水がなければならぬのであります。

吾々が衛生上殊に水に就て注意を要すべきことは傳染病に關することでありまして化學的に水の性質が惡るいと多少の害はあります併ながら尤も大した影響はありませぬ。其水の中に若しも病原菌のやうな＝傳染病の病原になるやうなものがありますると忽ちそれが體に入り込むのであります、今日までのいろ〳〵の例によりますと水に據りまして傳染病が傳

はつて行くと云ふのは非常に多いのである、御承知の通り虎列拉或は窒扶斯或は赤痢と云ふやうな忌はしい傳染病は多くは水に因て傳染つて行くのであります、其外二三の寄生蟲例へば十二指腸蟲病などは水に因つて起るので、吾々は能く田舍の者で所謂顏が青く膨脹れて居る人なぞを見まするが、彼れは卽ち十二指腸蟲病に罹つて居るのであります、斯う云ふ病氣は多くは口から入る、虎列拉、窒扶斯、赤痢の如き　吾々が飮む水から入るのですが寄生蟲病になりますと二三のものは皮膚卽ち皮から入つて來る唯今申上げたところの所謂十二指腸蟲は皮膚から入り込んで來るやうなものである、それ故に水に就きまして吾々は飮用水の注意は勿論其上に尙ほ使水にも矢張り注意を要するものである、勿論十二指腸蟲の如きものが入つて來るやうな水は汚たない、畠の水であるとか田の水であるとか云ふやうな汚穢い場合でありまして大小便などの入る水でありますので普通の井戸には入らないのでありますが、時に據ると河水を使ふやうな場合もありますから矢張り注意を要すべきものであります、兎に角水の衞生上最も必要なのは卽ち傳染病及び寄生蟲病の傳播を防ぐと云ふことであります、普通吾々が水をば取りますには一つは井戸から水を取り、一つは水道に由つて水を取つて使ふのでありますが、普通の井戸水と申すのは何う云ふものであるかと云ふと詰り地下水に外ならぬので、雪なり雨なりが地に落ちまして、さうして其一部分が土地の中に泌込み深部に入ります「バクテリヤ」などは濾取られ溶けて居る化學的物質が酸化されてさうして非常に複雜なる化合物は極く簡單なる化合物に變つて卽ち淸潔になつて來る、さう云ふやうな作用を受けまして段々先きに泌込みさうしてそれが集りまするとその處に水の層が出來ます其水を名付けて吾々が地下水或は地底水と言つて居るのであります、其水を取るのが卽ち井戸であります、吾々が井戸を掘る場合に於て段々中に行くと水の層に出會はしますので、其處で其水をば取るので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある、普通此地下水と申しまするのは非常に清潔なものであります、勿論蒸餾水とは大變違ふのである蒸餾水と云ふものは水素と酸素との二つが集まつて居るだけで他にはなんにも混つて居らぬのですから地下水はさう云ふやうな純粹なものではないのです併しながら瓦斯例へば炭酸等が含まれて居るのであります、其他二三の鹽類＝例へば硝酸鹽類等の化合物が入つて居る、併しながらさう云ふ物は毒であるかと云ふと決して衞生上惡るい物ではない却て良い物である炭酸とか或は硝酸鹽酸とか云ふやうな物が入りますと水の味が出て來るので、瓦斯や鹽類の無い水は味が無いのであつて蒸餾水なぞは飲んで見ると味が無いのである、それであるから飲水としては決して良いものではない却て地底水の樣に瓦斯や鹽類などを有つて居るものが良いのである、其上に深い層を拔けて來るからバクテリヤ所謂細菌の如き物は無くなつて居る、特に地層が深ければ＝卽ち井戸が深ければ深いほど水が良い譯である、ところが必すしも何處の地底水でも皆良いとは限らぬ場合に依ると惡いことがある、それは其地下水其物は元來は良くつてもさし水なぞのある爲に惡くなつて居るのがある、それであるから井戸を作る場合に於ては何よりも先づ第一に土地が良いか惡いか、あたりが清潔か汚穢いかと云ふことをば見なくてはならぬ、周圍に下水溜があるとか或は掃溜があるとか又は便所があるとか云ふやうな總て汚物を地中に送りさうな場所があるといけない、普通家屋なぞを建てるやうな場合にも其土地が汚がれて居るか何うかと云ふやうなことは見なければならぬのは勿論であるが、唯表面だけ見たのでは解らぬことがある、で井戸を作る場所は他の場所に比べて＝周圍の場所に比して多少高い處でなくてはならぬのであつて、それが低い場所で周圍より少し凹んで居るとか云ふやうな場所であるとさし水がするやうな虞がある。

それからもう一つは水が容易く出て來るやうな＝二尺か三尺も掘れば早速水に出會はすと云ふやうな場

所は周圍が比較的清淨でありましても地上水が地下水になるまでの距離が短く從つて土地の中で水が清潔になる暇がない、だからして危險の水が出て來る虞がある、普通吾々用ひて可なりと定めて居る水の深は約四「メートル」位の深がなければ充分でないとして居ると云ふのは彼の「バクテリヤ」なぞは殊に表面＝凡一尺ばかり＝指先の分量の土地の中に十萬位も居るものである、ところが四「メートル」の深さになると無菌である故に此處から出る水には斯う云ふ物が居らないのである、であるから餘り淺い所の井戸を使ふと宜くない。

それから其次は井戸の構造でありまするが此際最も注意を要すべきことはさし水で、さし水のあることは最も危險である、それ故に井戸の側は全く水のささぬやうな物で造らぬければならぬので厚い石か何かで周圍を固めて＝吾々が普通用ひて居る木の井戸側は餘り良い裝置ではないと思ふのであります、それ故に石の如き物或は土管の如き物でも周圍を圍みます如此くしましても飛んだ所からさし水がすることがある、井戸を掘る時は大きな穴を掘つて其内に井戸側をつくる間を埋めるのでありますが埋め方が粗末だと此處を通してさし水がします故に粘土か何かで充分に固めて此處からは決して自由に水が入らぬと云ふやうな裝置にしなければならぬのであります、それから尚は井戸は蓋をして塵が入らぬやうにし或は釣瓶も塵の入らぬやうに注意せねばならぬ、併しながら普通の井戸では如何に注意を致しましても上からして何か危險物が入らぬとも限らぬから保證は出來ない、そこで吾々が最も良いと云ふのは此の圖の樣な裝置でありまするが、大きな穴を掘りましてさうして下の井戸水の＝地下水の出て來る處まで行きまして其處に煉化石か何かで水溜を造りさうしてそれをば鐵管で地上と結び付け喞筒を設けます後は元の通りに充分に埋めて仕舞ふ、さうしますると大きな穴が明いて居るのではないから上からして何も入らぬ(圖を示す)、斯う云ふ裝置に致しまする

と共同的に使つて設令極く亂暴な人が使つて居つても汚物なぞ入ることはなからうと思ふ、吾々が普通使つて居る裝置であると往々見ることであるが襁褓などが井戶側に掛つて居ると其水がポタ〳〵落ちるやうなことがある、それで田村と云ふ人が＝此人は今內務省の防疫官をして居る人で先年群馬縣の技師を爲られた人であるが、大きな函の底を拔いた樣のものを地底水の處まで持つて來て倒に置き、それから土管でずつと積上げて此土管と土管の間に十分に水の泌まないやうになし周圍は始めの如く土にて埋め其中に竹の管を通して喞筒を裝置し汲上げるやうにするのであります、で是は割合に安いさうで普通參拾五圓か四拾圓位であります、斯う云ふやうに致して置きますると決して水の中に汚穢い物が入つて來ない、傳染病毒の入ると云うやうなことはないのである、東京なぞでも斯う云ふやうにしたら宜からうと思ふのである、共同に井戶を用ゆる場合には特にさうして置くと宜いのである、何處に何んな病人がないとも限らぬのでさう云ふ時に井戶で其病人の使用した物なぞを洗滌するやうなことがあるかも解らぬ、其時にはそれが爲に一緒に使ふ者は何んな迷惑をするか解らぬのである、で斯う云ふやうな具合で何か入るやうな場合がないとも限らぬ（圖を指す）斯う云ふ裝置にして置けば汚さるゝ事は先ないであらう此井戶水は簡單で最も良いと思つて居ります。

それからして此井戶水を使ふ場合に於きましては兎に角此水が善いか惡いかと云ふことを檢査せなければならぬ、井戶のある處が淸潔な場所であつても井戶を掘つて見ると存外水の惡いこともある、始めは水が良くても脇から差し水があつて惡くなる事があるからよく檢査して水が淸潔であるや否を見別けなくてはならぬ、で此水を試驗所に送る際に一定の注意が又必要である、化學的の試驗をして貰ふ場合に於きまして水を容れるところの罎は無論淸潔な罎でなければならぬ、「ビール」の德利の樣な色の着た物は餘り使つてはいけない、と云ふのは能く洗つても

中が能く分らない、であるから本當に清潔であるかどうかと云ふことの自信が出來ない、若し其水が清淨であつたならそれで宜いが其水が不潔であると云ふ成績になると其時には疑を起して又見直して貰ふと云ふやうな次第になる、無色の德利であると中が充分に清潔にすることが出來る、中が充分に清淨であると云ふ自信があれば一度で承知が出來る、であるから罎は色の著いて居らぬ透明な罎に容れるのが宜いさうして成るべく共口の罎かさもなければ新らしい「コルク」を用ひる方が宜い、若古い「ビール」や葡萄酒罎の「コルク」を使つたりすると其「コルク」の中に泌込で居つた物が其水を汚する場合がある、それが爲に試驗を爲る時に其水が惡いと云ふやうな判斷を付けらるゝことがあるのである、だからしてさう云ふやうなことがない爲に「コルク」は新らしいのを使はなければならぬ、是は水をば試驗に送る時の注意であります、で斯う云ふ化學的の試驗に由つて大體水の性質をば知ることが出來まするが尚ほ一層必要なのは此細菌試驗であります＝「バクテリヤ」の餘計な水は或は差水があることから起ので從て何うかすると病毒が入つて來る水となるので、吾々が水の判斷をしまするに化學的の試驗よりは細菌學的の試驗の方を先きにする、又それより必要なことは井戸の視察であります、周圍が非常に汚ないと泥水がするとか云ふことが解れば他の試驗は爲なくつても其水は不可いと云ふことになる、併しさう云ふやうな外觀がいけない井戸でも何うかすると其水を化學的の試驗をして貰つて非常に良いと云ふやうな鑑定を受けることもある、併しながらさう云ふやうな水は惡いと云ふ判斷を下すのが至當である何故ならば其水を試驗に送つて來た時には清潔な良い水であつても何時差水があつて不良の水になるか明らぬ。

で皆さんの處で若し井戸が衞生上良いか惡いかと云ふことを見て貰ふと云ふ時には斯道の人を呼んで來て其場所の視察を先きにして貰ふことが良いのでさう云ふ樣にして見て貰へば大體に間違はないのであ

ります、それからして此井戸の水は永久的に良いとは限らぬので一時檢査をしました際には大層良い水であつても何時なん時惡くなるか解らぬ特に地震などがあるときは地に裂目などが出來る爲に非常に惡くなることがある、今日まで良い水であつても地震の後に水の性質が急に惡くなるやうな場合がある、さう云ふ時には水の保證は出來ない、であるから平素に於ても兎に角水の檢査をして貰うのが宜いのであります、が殊に地震のあつた場合には倘更行つて貰う必要があるのであります、先づ今申上げた通りいろ／＼の注意を行りますると井戸水を用ひても危險を受けることはないのであります。

それから其次は水道の水でありまするが、水道の水は皆さんが使つて居られる井戸水と比較して何れが良いかと言ふと大體から申すと水道の水の方が良い併しながら今申上げた種々の點を注意致しますれば井戸水の方が都合に據ると水道の水より良い、日本に於きましては昔からありまする水道は不完全なもので此頃漸く發達して來たのであるが、それで極く近い調べて見ると日本で水道の在るのは＝現に在るもの或は工事中竝に是から拵へやうとする場所等を併せて約八十ばかりしかないので先づ其位に過ぎないのであるが歐羅巴に於きまして少し人口の多い所は大概水道の設備があるのであります、それで此水道の水として卽ち水源として何う云ふ水を使ふかと云ふに以前は多くは河の水であるとか或は池の水であるとかさう云ふやうな土地の表面に露出して居る水を取つて居ました併しながら近來は斯樣の水は成るべく避けて井戸水と同じやうな土地の中にある水を使ふやうにして居るのですが獨逸あたりの例に據りまするど約四分の三は土地の中にある卽ち先程申上げた所謂地下水が用ひられ四分の一は河水或は湖水卽ち土地の表面の水を用ひて居るのである、それで此土地の表面に露はれて居る水は水道として直接に使ふことは出來ないので、それをば淸潔にして使はなければならぬ、が地下水であると土地の自淨作

用を受けて清淨になつて居るから其儘水道に使ふことが出來る、地表水卽ち池水又は河水などであると雨でも降れば汚水が入つたり或は汚物が入つたりすので從つていろ〳〵の病毒も入り得るので、それであるからそれをば直ぐ用ひるさ云ふことは甚だ危險であつて、昔は玉川上水を直ぐ用ひて居つたのですが今は一定の方法を以つて水をば濾過する卽ち水をば砂で漉すので、其砂で漉すと云ふことは無論清潔ではありまするが、地下水が一年も二年も懸つて段段泌込んで地下に集まり清潔となつたものと比較すれば水道の濾過の方が餘程危ぶないので、又非常に濁つた際などには唯砂で濾たゞけでは直に清潔にはならない、斯う云ふやうな譯で衞生上にも多少劣つて居るところがあるし、それから又水を漉す爲にそれだけの裝置もしなければなりませぬし又濾過する費用も要するのですから經濟の點から言ふても不經濟である、故に今日では歐羅巴に於ては多く地下水を水源として用ひて居ります。然るに日本では何うであるかと申すと此頃では水道に地下水を用ひ又は用ゆる設計をして居りまする處が無ではないが大部分は河であるとか湖水であるとか池の水であるとか云ふやうな水を使つて居るのであります、それで地下水は何う云ふ工合にして取るかと云ふと適當な場所を選び多數の大なる井戸を作り其水を汲むか又溪間に於て淸水の出て來るやうな處を辿りて橫に非常に深い穴を掘り此處に集つて來る水を取るのでありまます、近來は井戸掘會社が出來まして極く深い處の水をば汲み上げると云ふことを行つて居る、東京でも井戸掘會社が高田の馬場の畠の中に一尺餘の直徑の鐵管を五百尺も深く掘り込で水を汲出して居ます兎に角斯う云ふやうな方法で水を汲出して貯水池に溜めて水道として配水致します、でさう云ふ地下水であると直に用ゆることが出來まするが、河水其外の物であると之を適當な方法で淸潔にしなければならぬ、其淸潔にする方法は何うするかと云ふに大體圖て描いて置きましたが(圖を指す)、此方の此赤い

のは汚穢い水で是から漉さうと云ふ水で、先づ第一に沈澄池に持つて來て＝多分淀橋の水道を御覧の方は御承知でせうが隨分大きな池に持つて行きましてさうして一方から極靜に流す、さうしまする浮游して居る汚たない物が段々沈んで仕舞つて綺麗な色になつて仕舞ふのでありますが、それをば其次の濾過池に持つて行きます、是は東京の水道の濾過池の圖でありまするが、一番下の處には約三四寸或は五寸位の直徑の石を五寸位の高さに積んで其上にそれよりも少し小さい石礫を積んで、又其上に五分位かまう少し小さい礫を積み又其上にまう少し細かい礫を積んでさうして其上に細まかい砂を二尺三寸程積むのは詰り五層になつて居るので恰度全體の高さが四尺二寸と云ふことになつて居るのですが、此下の大きな石は水を清潔にするに付ては大した效能は無いので詰り上の細い砂の方が水を清潔にするのであります、砂上の水が此砂の層を拔けて下の方に出るのである、一番初め濾れた水は餘り清くはならぬが段々漉して來まする内に水垢が溜つて來る、さうすると濾水は清潔になる、此水垢の附が段々餘計になるほど(圖を指して)水が清潔になつて來るのですが始めの内は濾水は捨てゝ仕舞ふとか元に戻して漉直しますが、水が清潔になつたかならぬかと云ふ検査をして始て使ふことが出來るやうになると貯水池に送るのであります、それで此の通常砂を通る速力は一時間に十仙迷即はち約三寸位の速さで通はるのであります、速くしますると濾した水は清淨にならない、其の速度が遲いほど清淨になるので東京水道では玉川の水が濁つた場合に何う云ふことをするかと云ふと、さう云ふ場合には明礬を加へるのであります、明礬を水に加へると水酸化礬土になるので之が小片を包で濾し取れる様になるのです、雨でも降つた翌日の水は大概明礬を入れて濾すのであります水を段々漉して來まするこ終ひには水垢が厚くなつて仕舞ふから能く漉せなくなるさう云ふ時には表面を一寸三四分もかき取り新しい砂を入れるのである

以上は通常水道で使用する方法で英國式濾過法と云ふて居りまするが尚ほ近頃になりまして濾過法として亞米利加式濾過法と云ふものがあります、英吉利式は百年程前に初て出來ましたので亞米利加式は近頃出來た方法であります、元來亞米利加では河の水でも汚なくして清淨な水は至つて少ないから普通の濾過法では清潔な水を得ることが困難で其爲に亞米利加式の濾過法と云ふものが行はれて近來は歐羅巴でも行はれて居る、日本では行つて居るところは一ケ所で即ち京都市で行つて居ります、初から明礬を入れて仕舞ふて之を濾過器に送ります之は凡そ直徑が二間半か或は三間もある大なる圓き槽中に厚さ一迷程細かい砂を入れ之れに水を入るゝときは水酸化礬土のフワ〳〵したものが此表面にたまり之が濾過の作用を助ける其濾過速力は英吉利式濾過法の約四十倍に當るので多量の水を得まするが其代り直ぐ此水酸化礬土が厚く表面を被ふため濾惡くゝなる其時には濾過を止めて下方より淸き水を濾過器に送り同時に器に備へてある攪拌器を廻轉して砂を攪拌すると水酸化礬土等は洗ひ去られて砂は再び綺麗となるさうすると再び用ゆるのであります、此方法は約四十倍程も早く濾過水が出來るのであるから汚穢い水を濾すには良い方法である、さうして清淨さなる度は英國式と同じやうに清淨になります。

次に清淨になつた水を貯水池に送ります、貯水池は水の供給を受くる家屋よりは一段高い處に設くるが宜いのであつて此貯水池を高くしませぬと自然に水が行かない、低いと喞筒か何かで水道管を中に壓込んで壓力を加へなければならぬ不利益がある、東京の水道に就て言ふと恰度斯んなやうな工合になつて居るので淀橋に貯水池があります、外にも＝本鄕の竹町並に芝の公園の處に貯水池がある、で本鄕の貯水池の水は本鄕の人が使ふかと言ふに彼處の水は使ふことが出來ないと云ふのは同じ高さにあるからで本鄕の貯水池の水は淺草下谷等に供給されて居るそれから芝の增上寺の後にある貯水池の水は芝區等・

の低い處に供給されて居る、それで本郷であるとか牛込であるとか高い所は何うして居るかと云ふと淀橋の貯水池から來るのである、高さの違が殆どないから喞筒をば仕懸けて斷えず水道管に水を押込んで壓力を加へて居る、それで喞筒を使ふ爲に人も要るし少なからぬ費用を要さねばならぬのである、さう云ふ風であるから貯水池は成るべく高い處を選ばなければならぬのであります。

地下水が土地の中に在ると同樣の狀態を保たしむる樣に上は「アーチ」として土を以て被ふを可とする又貯水池の水の停滯し水が腐ることのなきため貯水池の中に水が成るべく停滯しないやうな構造になつて之から市中に送水するには貯水池からして太い鐵管が出て之により水が送られ段々細い管となり各戸に行く普通吾々の家に入る水道の管は鉛を使てありますが詰り鉛は屈曲自在で取扱上便利であるから用ひますので此鉛を使ふのは衞生上から言へは缺點がある、と云ふのは鉛は水に溶け易い殊に炭酸瓦斯が餘計入つて居る水には溶け易いのであるが左程懸念する程でもありませぬが兎に角あまり良くはない、能く鉛は中毒を起す場合がありますから吾々が水を使ふ時に注意しなければならぬ長時使はない水を使ふ場合に初の部分の鉛管の中に溜まつて居ると想像さるゝ位の分量の水は棄てゝ仕舞ふ方が宜いので、卽ち朝一番初に汲む時に鉛管の中に入つて居たらうと思ふ位の容積の水は流したら宜からう、さうすれば全く危險は無い譯であります。

それからまう一つ水道を使ふ場合注意すべきことは水道管の末の方に當つて居る場處では場合によると(途中で盛に水の使はるゝ場合)少しも水が出て來ないことがある、此時には水道管内に陰壓がある此ときは外から(水の出口から)汚物を吸込む恐があるために水の出口は汚さない樣に注意せねばならぬことは公德上必要であらうと思ふのであります。

是で先づ水道と井戸とのお話は濟んだと思ひますから之丈で御免を蒙ります。

叢談

子女の養護

ドクトル　三田谷啓

人間の健康に對する第一の豫備條件は人間を作る人の健康である。即ち一言にして云へば遺傳である。遺傳は人間の運命を大に左右するものである。胎生の時代に遺傳的に變性したものでは之を學術の助けに由つても普通のものにすることができない。異常の性質を有して生れて來たものを強健の人間とすることは不可能と云はねばならぬ。兩親の疾病殊に神經病の如きものが遺傳して子孫に傳へられることは確かである。それだから父母が自己の健康を保つことは最も必要なる義務と云はねばならぬ。之は子供を宿さぬ以前に於て心掛けられねばならぬ點である

それであるから衛生の原則は如何なる場合に於ても嚴守されねばならぬ。自己の健康を如何にして保つかと云ふことを考へ得ない父母は、自己の子供の養護について誤なきを保することは困難である。遺傳のことに關しては別に題を設けて述べる機會があると思ふにより、爰では單に乳兒の榮養と學校期に於ける子供の養護について述べてみようと思ふ。

乳兒の榮養

哺乳時期に於て現るゝ疾病は可なり多くある。其中には一時性のものと持續性のものがある。一時性のものは治癒後心身に及ぼす影響殆んどなけれども持續性のものは生涯に渉つて影響を貽すのである。例へば佝僂病の如きものである。

幼兒に起る疾病で主なるものは、百日咳、急性氣管枝炎、痲疹、質扶的里及び格魯布、黴毒、肺炎及び氣管枝肺炎、下痢及び腸炎、結核性脳膜炎等のものである。此内には榮養の不良、看護の不適當等の爲に疾病の誘因となりしものがある。

普通佝僂病は二年乃至三年の時に初めて兩親から氣付るゝのである。能く遭遇する例は、子供が歩行し得ぬためこれは病氣があるに違ひないと考へらるゝことである。また歩き初めてゐて後再び歩き得ぬやうになるものがある。また幼兒が蒼白になつて榮養衰へ發育が不充分であることを見る斯かる場合には肺の加答兒、胃腸の消化不良、痙攣等を發見することがある。斯の如く佝僂病の場合に種々の機官が共に障碍を受けてゐるけれども其内最も著しいものは骨である。骨の組織中には石灰を含んでゐて之が骨組織を堅くするのである。健康の兒童では各個の骨が長さと太さを增し、之に相當した石灰を骨の組織中に存してゐて、抵抗力を增加し身體を支へ得るのである。

佝僂病の子供にありては其骨が發育する場合に充分の石灰を含んでゐない爲め、骨が纖弱で曲り易く、折れ易くなつてゐるのである。それだから佝僂病の子供の骨は種々の形に曲るのである。例へば下腿の骨が曲つたり胸廓が一方に偏して彎曲し、又突出し、脊柱は曲つて凹凸を示すやうになるのである。女子に於て佝僂病の恐るべき影響は、骨盤が變狀を呈することである。骨盤は上腿骨、脊柱等と直接觸れてゐる爲に種々の變形を來し、或は曲り或は斜位をとるやうになるのである。佝僂病性の女兒を見ると骨盤の骨は軟柔かで曲り易く骨盤腔は狹くなつてゐるのを見る。

斯の如き狹い骨盤を有してゐる女子が、後に妊娠すると娩產の時に胎兒は容易に通過し得ない。隨つて子供を傷つけて出さねばならぬやうなことになるのである。又骨盤が狹い爲めに胎兒の位置が普通でない場合がある。其結果娩產時に母に開腹術を行ふ要を見ることがある。若し此の如き醫師の處置が施されぬ場合には、胎兒の母は直接又は間接の影響を受けて死に至るのである。

佝僂病の內遺傳により先天性に來るものを別として其他は主として乳兒期に於ける榮養の不適當なるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のと見做されてゐるのである。佝僂病兒の骨が著しく軟弱且つ屈曲し易いのは畢竟骨中に含まれてゐる石灰分が少ない爲である。石灰は骨の發育に必要なるもので恰も他の榮養物を發育に要するのと同じである。それ故佝僂病兒の得た榮養物は石灰分に乏しかつたか或は兒童の消化器が充分石灰の性分を採り得ざる性質の榮養物と見做さねばならぬ。穀粉類は骨の發育に要する石灰分を含むことは少ないから注意を要するのである。小麥粉は母乳の四分の一しか石灰分を含んでゐない。母乳の中には石灰に屬する有ゆる鹽類を含んでゐて身體の發育に必要な量をもつてゐるのである。此理由により穀粉を以て育てられた兒童は確かに佝僂病性になるのである。

之のみならず其他の關係で乳兒に粉類を與ふることは不適當である。總ての粉類及び總ての麥麵は主として澱粉質より成つてゐるから、此種の榮養物は避けられねばならぬ。成人は粉類及び麥麵中に含まれてゐる澱粉は消化し得るのである。即ち口中の唾液が食物と能く混じて胃腸に入りそこで更に不消化性の澱粉は糖に遇ひて溶け腸壁から吸收されるのである。

乳兒の唾液は澱粉を砂糖に溶かせる作用は少いのみならず、腹部の唾液は生後第四週に於て用を爲さぬ此の如くにして粉末類の成分は消化せられないのである。

障碍は之のみではない子供の胃及び腹內に於て不消化性澱粉は著しく迅速に醱酵を起し、それが酸を作り、其酸が胃及び腸の粘膜を刺戟し、これが胃腸の炎症を起すのである。斯くて胃腸加答兒が起つて來る。此の如して石灰は僅かに消化器から吸收さるゝのであるが、下痢の場合には榮養物が胃腸を速く通過するによつて、吸收せらるべき石灰は益々減少してくるのである。

斯くして粉末で育てられた子供は佝僂病性になるのであるのみならず、胃腸の病氣を起して多くは生後一年以內に死んでしまふのである。

チステルの小兒粉の如きは盛んに廣告して乳兒の榮養品に適當なりと吹聽せらるゝけれども、決して適當なものではない。尤も二年目には之を與へても不利はないのである。卽ち生後二年の子供は澱粉を消化する力をもつてゐるのである。或人の報告に據るとチステルの小兒粉を用ゐて育てられた哺乳兒三百十人を調べて見るに其殆んど全部は佝僂病に罹つてゐたと云ふことである。

其の他此の如き榮養品は牛乳より高價に失する缺點がある。牛乳は人工榮養の內で最も安價なもので、且つ善良なものである。

生後一個年の子供の自然的榮養は母乳に勝るものはないのである。胎兒が母體內にある間母は全然胎兒に代りて消化的作用を營むでゐるのである。卽ち母の血液內にて溶解した榮養分は直接胎兒の血中に移行するのである。母乳を以て行ふ榮養は最も簡單な自然的なものである。此成分は乳兒の榮養裝置を保護し、且つ負擔を輕ろくするのである。

其外榮養素として稟ぐべきものが二つある。一つは蛋白で他の一つは脂肪である。此榮養成分は母乳より乳兒に傳へらるゝのである。此二物質は子供の胃腸の液を容易に且つ迅速に溶解し得る容で乳兒に攝取せらるゝのである。之に依つて乳兒の消化裝置は最も負擔が輕るいのである。前にも述べた如く母乳の中には乳兒の機官に必要なる鹽類殊に石灰鹽類を含んでゐて、之が兒童の身體の發育に用ゐらるゝのである。母乳の利益は之のみではない。卽ち母乳は外氣に觸ること少くして直接子供の口に入るのである。

春眠曉を覺えず

孟浩然の詩で御座いましたが、春眠曉を覺えず、處々啼鳥を聞くといふ名高い詩句があります。全く今日此頃の春の曉の寢心地を詠じたものでありませう、此の詩の講釋を致すわけではありませんが、一

體何故に邪は曉を覺えぬほどによく眠れるのでありませう。それはつまり寢心地がよいからと云ふのが普通の答であります。然しもう一歩進んで何故に寢心地がよいかと尋ねると、今度は「熱からず寒からす丁度好い季節であるから」と云ふ答になります。そこで更に一歩を進めて、熱からず寒くなければ何故よく眠れるかと問返しますならば、その答はいよいよ睡眠の生理的説明になつて參ります。

睡眠といふのは覺醒、即ち目が醒てゐるの反對で、はつきり目が醒めてゐるのは注意力の張詰めた狀態とすれば夢なき深き眠りは全く注意力の弛むだ休息の狀態であります。一體吾々が目を醒まして居りますのは、光とか音響とか其他種々の感覺刺戟の爲に中樞神經系が適度に興奮して居るからであります。動物などに於きましては、その注意を喚起すやうな光線又は音響等の刺戟を除きますと、日中でも容易に眠らすことが出來るものであります。春眠曉を覺えざる所以も畢竟氣溫が適度で、寒熱の刺戟が無いも同樣であると云ふことが主なる原因であります。

然しながら目を醒して居るのは單に外から來る感覺直接の刺戟にのみ由るのではない、精神の活動、即ち腦皮質細胞の間に起る所の種々複雜なる變化の種類、その活潑の程度にも由ることであつて、精神の遲鈍にして怠惰なる人は眠らしめ易く、心痛憂慮する所あれば眠れないと云ふ事實でも分かります。それで眠る爲には成るべく外から來る刺戟を避け、注意力を弛め、努めて精神を安靜にすると云ふことが必要な條件であります。嘗て一眼は盲で、一耳は聾で、おまけに觸覺は痲痺し、嗅覺や味覺も遲鈍な憐むべき一青年がありましたが、此人は一方の健康な眼と、健康な耳を閉ちますと何時でも安々と眠に就くことが出來たと云ふことであります。

尙は普通の睡眠に必要なのは疲勞であります。それで又疲勞と云ふことに就て少しお話致しますると、吾々が働きます間に新陳代謝產物として體內に一種

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の毒素のやうなものが溜ります、それを疲勞物質と申すのであります。その化學的成分に就ては多少議論もあることですが、兎に角非常に疲れた動物の血を採つて、これを他の健康な、卽ちまだ少しも疲れてゐない動物に注射致しますと、今まで元氣よく走廻つて居つた動物は忽ち疲勞の狀態を呈するのであります。疲勞すれば身心もの憂く、痲痹したやうな感じがして、精神の働も身體の働も著しく衰へて參ります。それをも拘はず强ひて勞働を續けますと遂には力盡きて斃れることになります。これは軍隊の强行軍の際、又は登山、漕艇、柔道擊劍等の激烈なる競爭の時などに往々あることで、その甚しい場合には死亡して仕舞ふのであります。特に生來虛弱な人、又は心臟に何か故障のある人は早く斃れますが、健康の人でもあくまで勞働を强ひらるれば遂には斃れざるを得ないのであります。普通の生活に於ては斯樣な甚しい疲憊脫力の狀態に到らざる前に自から休息を要するやうになり、且つ睡眠を催すのであります。若し疲勞といふ感じがなかつたならば勉强な學者な勤勉な勞働者は遂に恢復することの出來ぬまで身體を消耗するであらうと思ひます。さうして見ると疲勞の感は勞働を程好く調節するもので身體を過度に消耗するのを防ぐ所の生理自然の妙機といはねばなりません。疲勞に關するお話は、この位に止めまして、疲勞を癒しますのには休養特に睡眠が必要であります。つまり此間に前に申しました疲勞質が中和され排泄されて消耗した成分が補はれるのであります。この爲に睡眠は非常に大切なものでありまして、一晩徹夜致しますとその害を恢復するのは容易でない、三日絕食したよりも有害であると申します。

右に述べました如く、適度に疲勞すれば睡眠を促すのが通例であります。故に何も仕事をせずにぶらぶらして居る人が、夜不眠に苦しむ場合には、催眠藥を服よりも先づ晝の間有益な仕事、特に身體的の勞働をするのが第一の處方であります。然しながら疲

勞も度に過ぐれば却て又不眠の原因となります。殊に虚弱な神經質の人が精神的の仕事を過度に致しますと、疲勞を覺えながら却て神經が惡く興奮して眠れなくなるものであります。就寢前に難かしい書物や、精神を激越せしむるやうな讀書談話を避けよといふのは此の理由であります。

以上の所説を綜合して考へますと、睡眠をするのには、適度の疲勞を成るべく感覺器の刺戟を少なくすること、出來得るだけ精神を安靜にすることの必要なことが分かります。故に晝の間有益な勞働を適當にし、成るべく閑靜な、餘り明くない、溫度の適當な寢室で、道德宗教的の安心に住して枕すれば、安穩に深き眠を得るわけであります。

身體と精神の健康（五）

醫學士　渡邊房吉

腦の發育又は構造に遺傳性の缺陷があり若くは後天性の故障があれば、其精神にも故障のあることは上來述べた通りであり、又身體に病氣があれば其精神も不健全であることは略ぼ申し述べましたが、更に明かに身體が精神に及ぼす影響を示すところのものは男女の生殖腺と甲狀腺とを身體から取り去つた場合であります。

第一。男女生殖腺と精神との關係。生殖器の主要するものは、男子にあつては睾丸、女子にあつては卵巢であります。睾丸は精液の生ずるところ、卵巢は其名の如く人の卵のあるところであります。精液と卵と相會して始めて胎兒の生ずるものでありますが若し男子から睾丸を取り去り、女子から卵巢を取り去れば、其氣質は一變して進取の氣象や、向上の精神は消失するやうになり、時としては意氣地のない始末に終へぬ人間になることがあります。如何に勇壯活潑な青年男女であつても、此生殖腺を取り去つて仕舞へば、優柔不斷になる傾きがあります。故に今日では是等の生殖腺は生殖要素を產出する外に、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一種の内分泌があつて、全身を鼓舞するものではないかと思つて居る學者があります。

第二。甲狀腺と精神との關係。甲狀腺とは喉頭の前方に位する一つの腺で、一種の内分泌と云ふ作用をして人體の健康を保持してゐるものゝやうであります。古來此腺は作用不明の機關として不思議に思はれ、或は一種神祕な作用を營む寶庫のやうに看做され、或は人體には殆ど不用のやうに思はれた事もありましたが、此腺が人體に缺くべからざるもので、且つ深甚なる關係を精神に對して有つて居ることは手術によつて此腺を取り去つた場合に起る症狀によりて知ることが出來ます。

即ち人から健全な甲狀腺兩部を取り去つて仕舞ふか或は甲狀腺の病氣の場合に之を全部切り取つて仕舞へば、其人は「クレチン」と云ふ病氣になります。此病氣になれば顏面の筋肉の緊張が無くなつて呆然たる外貌となり、從て額やその他に盛に皺の波を寄せ口脣は厚くなつて外の方へ反轉り、言語は澁滯して何を云ふのやら分らなくなり、手足は冷え、全身はだるく、榮養も不良になり、智力はにぶり、意志の力も減じ、すべて沈鬱性になり、一見して白痴と稱すべき狀態となります。

たとへ水々しい、青春の氣のみなぎり立ち、若い血汐の燃え立つて居る敏捷活潑な才子佳人であつても一朝甲狀腺全部を取つて仕舞へば、むさくるしい、皺だらけな、憐れむべき古老のやうになつて、精神も之と共にボケて、俗に云ふ白痴、馬鹿、野呂馬と云ふ哀れな狀態に立ち到るのを免れません。

かゝる心身の大變化は、甲狀腺を取り去つた場合ばかりで無く、甲狀腺の病氣で其腺の官能が不能になつた場合にも亦起るものであります。例へば甲狀腺萎縮症と云ふて、甲狀腺の漸次萎縮して其作用を營まなくなる病氣でも、上記のやうな精神並に身體上の變化の現はるゝものであります。

要するに「利口な人から甲狀腺を取り去れば馬鹿になる」と云ふのは、的確な事實でありますが、殊に

面白いのは甲狀腺を取つて一旦馬鹿になつた人に、再び甲狀腺を植ゑ付けるか、他の甲狀腺を取つて食べさせるか、或は甲狀腺から製した藥を飮ませる時は、再び元のやうな利口になり、精神の作用も敏捷活潑となり、辯舌も達者で、額の皺もなくなり、顏貌もいき／＼として水際立つた昔日の靑年となります。然るに此靑年に以上の甲狀腺や、甲狀腺から製した藥を飮食させなくなれば、又もや例の馬鹿となります。此馬鹿を利口にするには甲狀腺を飮食させれば良いのであります。

『馬鹿につけるくすりは無い』とは古來の云ひ傳へでありますが、甲狀腺から起つた馬鹿には、甲狀腺を飮食させるが最良最善の方法であります。此の如き事實から、今日では甲狀腺の手術を行ふ場合に、決して甲狀腺全部を取らないのを規則として居ります一部分でも甲狀腺を殘して置けば、患者の健康狀態には差支はなりません、是等の事實に徵しても、身體の事狀が如何に偉大なる影響を精神に及ぼして居るかゞ明かであります。誰か之に向て一點の批難を挿さみませう。

然らば人は遺傳の素因、先天の運命と觀念して、生れながらの性質を甘受して往生しなければならないでせうか。不良な胚種から芽を出した草木が其繁りの惡いやうに、我々も父祖から讓り受けた體質を『定まり事』とあきらめて仕舞はなければならないでせうか。曲つた枝葉を矯め、其根につちかひ、其繁茂生育を助けることは出來ないでせうか。

大に出來る、大々的に出來る、生來の素因に根ざす不良の結果を打ち消して、其性質を改善して行くことは不能ではない。それには身體に及ぼす精神の影響を考へる必要があります。

要するに

（一）男女生殖腺を取り去れば、其男女の精神に大なる影響を及ぼします。

（二）甲狀腺を取り去れば其人の精神力が衰へます。

(三) 遺傳の體質も教育により改善することが出來ます。

(未完)

種痘の效力は幾年間續くか

昔、種痘の初めて行はれました頃は、未だ衞生思想の幼稚な時代の事とて、非常の困難がありました。如何にかして痘瘡流行の慘害を救はむとして殆ど生命を賭して種痘を普及しやうと致した人々も大分ありましたが、何れも甚しい迫害に逢ふたものであります。而して漸くその效を認められるやうになりましても、猶ほ暫くの間は何やら山師者、又は魔法乃至切支丹の仕業のやうに思はれて、試ろみても宜しいが、少なくとも天子樣の御膝下たる京畿の内では左樣な如何はしい禁厭を行ふては相成らぬと云ふやうな事もありました。斯樣なわけで今日の如く種痘が法律で以て施行されるやうになりますまでの歴史を見ますると實に今昔の感に堪へぬ次第でありますが、却て本元の西洋の田舍には今日でもまだ種痘を嫌つて、拒絶したり反抗したりするものゝあるのは餘程面白いことであります。殊に露西亞、墺太利、匈牙利あたりの田舍には隨分痘痕のある人が居るさうであります。我邦では幸ひ痘痕のある人は頗る珍らしくなりましたが、斯樣な痘瘡に耐え得て健康に復した人はまだ仕合せですけれども、此等少數の痘痕面の人を出すには多數の犧牲者があつたわけであります。痘瘡の歴史を見ますると實に恐るべきもので、この惡疫が豫防されるやうになつたと云ふものは全くジエンナ氏の御陰である。疱瘡の守神として祭つてよいと思ひます。

然し一度種痘をすれば、それで一生涯疱瘡に罹からぬかと云ふと、さうは參りません。幾年か過ぎると再び罹り得る。種痘のみならず眞性の痘瘡に罹つて立派に痘痕のある人でも罹ることがあるのであります。勿論罹つても輕いが、罹ることがある。

獨逸に於て千九百二年から千九百十二年に至る十年

間に一萬三千百七十七人に種痘狀態に就て統計的の觀察をした人の說に依て見ますると、その內種痘を施されたるものが一萬二千六百七十七人で種痘をしなかつたものが五百人であつたさうですが、種痘を施されて又追加的に疱瘡に罹つたものは四百三十八人、先づ百人に四・三五の割合であるが、此等の人は一名も痘痕を殘したものはなかつた。又種痘をしなかつた。五百人の中で三百五十八人、即ち百人の中七一・六の割合に疱瘡に罹つて、此等の人々は何れも顏面に痘痕を讀まれ、多少に拘らず醜き痘瘡の瘢痕を留め、一部分の人は又胸や四肢にも痘痕を殘したと云ふことであります。之に依て見ますると、種痘しない人は、種痘をした人に比して疱瘡、殊に重い疱瘡に罹る危險の度が二〇・七倍ほど大きい。これは他の學者の調査した所でも略ぼ同樣であります。それで今回の歐洲大戰爭が始まりますと、獨逸では墺太利及び匈牙利に向つて是非種痘を勵行するやうに要求した模樣であります。

右の調査材料にて、種痘を施されたもの二百四十三人の再感者に就て、その疱瘡罹患の時期を詳細に調べて見ますると、百二十九人は種痘をしてから少なくとも十箇年を經過して居る、五十二人は六年乃至十年、四十二人は二年乃至五年を過ぎたものである。然るに十九人は一年以內のものであつた。但しこの最後の十九名中九名は周圍に痘瘡が流行したので初めて急に種痘したもので、つまり種痘の遅れたものである。それでもその疱瘡は至て輕症に濟むだと云ふことであります。この種痘後一箇年內に疱瘡に罹つたと云ふものゝ中の殘りの十名は、これは特別に痘瘡に罹り易い素因を有つて居つたものと云ふより外は仕方がありません。それで痘瘡豫防接種の有效期間は最長十箇年と見て宜しからうと思ひます。我國の現行種痘法でも第一期は出生より翌年六月に至る間、但し不善感なる時は翌年六月に至る間に於て更に種痘を行ひ、第二期に數へ年十歲、但し不善感なる時は翌年十二月に至る間に於て更に種痘を行ふべ

し。定期前二年以内に善感したる種痘は第二期の種痘と看做すと云ふことになつて居ります。誠に適當な規則と思ひますが、若し痘瘡が流行するやうな模様のあるときには、一二年前に種痘した人、又縦令痘瘡のある人でも再び種痘を行へば安全であります。

健康の眞價

三田谷啓

健康は生命の最も貴重なるものである。恰も道徳が精神の最も重要なものであると同じことである。併し妙なことには此最も貴重すべき事柄を失つてしまつた後に、初めて其尊さを感ずるのが普通である。即ち病人は健康を失つて後初めて健康の尊さを自覺するのである。而して其健康を戀ひ慕ふやうになるのである。多くの人間は自分が死の手に觸れて初めて生命の眞價を知るのである恰も囚人が獄中で鐵柵場裡で自由の尊さを自覺するやうなものである。

健康の眞價は健康を贏ち得たるものによつて認めらるゝのである。即ち病氣の中より免れて健康を恢復して初めて如何に生命の健康が大切であるかを悟り且つ攝生の必要を感ずるのである。

ところが不幸にして人間の大部分はそこまで考が及んでゐない。多くの人は財産例へば金錢のやうなものを以て最も大切なものと認めてゐる。此さへあれば人間の價値を發揮して行けるものと考へてゐる。精神的財寶の有無は更に頓着すべきものでないと考へてゐるのである。盲者は金を以て損はれた健康を求めようと試み或は不安の人が愉快を購ひ、精神の平和を求めんとしても到底目的を達し得られぬ。多くの人は若し之ができるなら千百萬圓の金は惜む所にあらずと考へるであらう。精神的財寶は金によつて求め得らるゝものではない。之は是非とも自分が作り出さねばならぬものである。金錢財寶は人から貰ひ受ける事もできる。併し精神的財寶は之を讓り

受ける譯には行かぬ、之が精神と物質との區別である。

斯の如き精神的財寶は取も直さず健康である。之は他人から贈り物のやうに貰ふことはできないのである。贈られて貰ひ得るものはたゞ生命のみである。此生命は吾々が無代價で貰つたものである。然るに若し此生命が健康を失つたならば其價値は殆んど無いのである。生命の眞の利益は健康によつて生ずるのである。

健康を樂しむと云ふことは大切なことである。併し之を所謂享樂主義と混同してはならぬ。玆に謂ふ享樂主義とはたゞ面白く樂しく自由に此世を送らうといふものを指すので修養とか克己とか慈善とかいふやうなことを更に顧ないものゝ義である。

ところが世間には此世を爲たい放題にして樂しく暮せば夫れが一番だと思ふものが多い。此考は非常な誤りである。其結果多くの人は生命の眞の快樂を味ひ得ないのである。唯健康によつてのみ生命の快樂を享け得るのである。自然は吾々の生命の中に多くの不思議な力を宿してゐるのである。然るに健康が害されると此力は消滅して了ふのである。

吾々人間は健康を維持すべき爲に何故努力を要するのであらうかと云ふに、吾々の周圍には生命の危險を喚起するものが充滿してゐるからである。吾々は此危險物を除去すべき爲に骨を折らねばならないのである。動物は自己の健康を保續すべき爲に多くの事を行らない。人間は動物に比較すると甚だしく危險の狀態にゐるものと云はねばならぬ。例へば人間の職業は悉く多少の障碍を健康に及ぼすものである。其中には避け得ざるものもある。職業病即ち是である。しかし職業を此爲に捨てることはできない。職業を捨てると失職者になるのであるから、云はゞ一難に免れて一難に入るとも云ふべき狀態に陷るわけである。

失職は生命を弱くし健康の爲には大なる敵となるのである。職業の外に尙は文華環境等は尙ほ健康に多

くの危險を及ぼすものである。例へば薔薇の群叢に別け入つて綺麗な花を採らんとして思はず知らず自己の衣服を割くやうなものである。健康の敵は到る處に滿ちてゐる。病と死の手は生命の門戸に立つてゐるのである。

それであるから思慮と理性をもつて健康のために計らねばならぬ。人間が自己の衞生を重んせないために病氣に罹るといふことを知るならば、多くの病氣を避け得らるべきである。行に應報あり併し健康の應報に勝る行はない。

然らば一體吾々は健康のために何をせねばならぬかといふに人間は健康のことについて考へ自己の生命を自覺することが大切である。さうすると如何にして健康を保つかと云ふことがわかつてくる。之れ同時に人間の運命に關する自覺ができて來るのである。生命を愛するは善し併し死を恐れてはならぬ。右に述べたことを原則として吾々は之を守らねばならぬ。吾々は生命を健康の條件の下に保護し、且つ積極的に健康を守つて行かねばならぬ。吾人は此健康に要する條件を充たすやうにつとめなければならぬ。自然の法則は決して非法ではない。若し非法であれば吾々は病氣になるのである。健康の條件は吾吾が知つてゐなければならぬ。之に關する知識が吾吾に自然の法則を授けるのである。自然界に於ける森羅萬象は悉く法則から割り出されてゐるのである。それであるから人間は先づ自然の法則を知り之に對して注意を拂ふことが大切である。

如何にして健康の原則を行ふかと云ふに之には二つの方面がある。一は身體的他は精神的方面である。精神的方面は精神の平和感情の安靜、精靈の明覺等を指すのである。精神と身體との間には、一定の調和を有してゐるのである、其故精神に異狀があれば身體にも異狀が表はれ、身體に異狀があれば精神にも異狀が表はれるのである。精神的調和は吾々が贈り物として貰つたものではない、之は吾々が得たる理想的財寶である。之を得るには千辛萬苦を經なけ

ればならぬ。財發が多ければ多いだけ辛苦は增すのである。辛苦が多ければ多いだけ獲物は增すのである。

高い處へ到達するには一定の徑路を擇ばねばならぬ。此徑路は平坦でなく險阻である。之を登るのには多くの勞力を要するのである。人間は此勞力を省くことを好む。卽ち人は勞力を恐るゝのである。青年の時期は理想の時期である。此理想の時期は正しく培養せらるゝによつて花が咲き實を結ぶ時代を作るのである。人間の理想は頭に宿り理性が之を發達させて行くものである。

前述の路は果して何處にあるかと云ふに、之は法則の道で、而も一つしか無い。併し確かな道である。法則精神が存する以上は同時に法則が伴つてゐる。法則なしに精神が世界を巡察することはできない。それであるから吾々は精神の法則を見出さなければならぬ。此法則が卽ち道である。此道が精神を健康にし且つ高調せしむるのである。

自然の調和は取りも直さず法則の調和である。斯の如く精神と自然は接觸し抱合してゐるのである。

法則は極めて簡單なものである。卽ち身體の健康は生命の法則を要し、精神の健康に對しては精神的法則を必要とするのである。此二つが集つて宇宙觀を形成することができる。どんな人でも必ず一個の宇宙觀を有してゐる。生命の法則は宇宙の法則を除いて了解することはできないのである。

腹痛に就て（承前）

千本馬太

前回は胃から起る腹痛の事を申上げましたから、續きと致しまして腸から起る腹痛の事を申述べます。腸は俗に「ヒヤクヒロ」と申します位長い管で、絕えず飲食物を消化し、吸收し、その不用となつた殘物を排泄する爲めに絕えず運動して居るものでありますから、種々の障碍が起ることがあり、腹膜と云ふ

神經や血管に富むだ感覺の鋭どい膜に連なつて居りますので隨分激烈な疼痛の起ることがあるものであります。これをお話し致しますのには大體腸の解剖上の區別を申上げて置くのが便宜であります。
腸は胃の末端、即ち幽門といふ部分の後方から續きまして腹腔の內をぐる〳〵紆廻つて大凡その三分の二ほどの場所を充たし、終に最後の肛門となるのであります。腸管は通常小腸と大腸との二部分に大別されまして、小腸は六迷半、大腸は一迷半位の長さがあります。
小腸は又上の方から順に申しますと、十二指腸、空腸、廻腸といふやうに區別されて居りまして、小腸の末端は右の腸骨、即ち腰骨の前に突出た部分の內側の處で大腸に移るのでありますが、小腸から直ちに大腸に續くのではありません、二三寸上の方に行つて廻盲瓣といふ部分で大腸に連なるのであります。
大腸となりますと名の如く腸管は著しく太さを增し、同時に上の方に進み、大きく彎曲を描いて左の方に曲がり、下に降つて左の腸骨窩を通つて肛門に至つて終ります、その長さは五尺位のもので、これを又盲腸、結腸、直腸に區別致します。盲腸と申しますのは即ち大腸の始まりの部分でありまして、右腸骨窩の部に當つて居ります。此處より上方、右季肋部までの間を上行結腸といひ、それより左に曲つて左季肋部までの處を橫行結腸といひ、其處より下方に曲つて左腸骨窩までの部分を下行結腸といひ、その下部は羅馬字のS字形に屈曲して居ります所からS字狀部と稱し、これより直腸となり肛門に終るのであります。
これで大體腸の解剖上の名稱區別が分かつたことに致しまして、これより腸に原因があつて起る所の腹痛に就てお話を致します。然し腸に病氣があれば大抵多少の疼痛があり、而かも腸管は長いだけに種々の疾患がありますから、各疾患の疼痛に就て細かに申上ることは困難であります。依て腸の疼痛を一括

してお話した上に、普通最も多く又最も疼痛の強い病氣を一つ二つ擧げることに致します。

腸に原因が在つて腹痛の起る場合には、醫師は種々の方面より、その病變のある部位及び病氣の種類性質を診斷致しますが、疼痛を覺ゆる部位、その疼痛の性質に依ても餘程見當がつくのであります。例へば通常盲腸炎といふ病氣のときには右腸骨窩、即ち臍の右下の邊に疼痛があり、十二指腸潰瘍といふものゝときには右の胸の下で腹の中央線よりも少しく右に偏して疼痛があるといふやうな大體の規則があり、又臍の下の一部分の疼痛は小腸の疾患に相當し左腸骨窩は結腸の下部の疼痛に當たるのであります例へば赤痢などのときには此部が腫れて疼痛を起すものであります。それからその疼痛が廣い部分に放散がることがあり、又は一部分に限局して居ることもあり、手を以て按つたり壓へたりすると疼痛の緩解になることがあり、反對に疼痛の強くなる場合もあります。壓へて緩解になるのは大抵神經性のもので、壓して疼痛の増すのは腸が腫れて居るとか潰瘍があるとか何か器質的の疾患があるものと思はれ、その疼痛は長い。神經性のものは時をきつて發作性に起るといふやうなことがあります。又大腸の疼痛は大抵食後に起り、十二指腸の疼痛は食後二時間乃至三時間目位に起るといふやうに食時との關係、又便通との關係で腸の疾患のある部位を想像し得ることもあります。然し恰も腸から起る疼痛の如く見えて、實は腎臟、膀胱、或は肝臟、膵臟又は脊髓等の病氣が原因になつて居ることもあります。その疼痛の性質も腸の部位、又疾患の種類に依て壓されて苦しいやうな鈍い疼痛のこともあり或は刺されるやうな疼痛のこともあり、或は灼くやうな又は裂かれるやうな疼痛のこともあります。

次に疼痛の強い腸の疾患を一つ二つ擧げて見ますと急性の蟲様突起炎、普通盲腸炎と云はれるものも大部分これが原因になつて居りますから、俗稱に從つて廣く盲腸炎と申して總てこの附近の炎症を指して

置きます。この盲腸炎の時の疼痛は食慾がないとか便通が惡いとか又は噯氣が出る或は惡心、嘔吐といふやうな消化器の症狀が前にあることもあり、或は多少惡寒がしたり、熱の出たりすることもありますけれども、多くは今まで何事もない全く健康な人に突然劇痛を發するのが常であります、往々睡眠中に劇痛が起つてその爲に目が醒めたと云ふのが始めであります。この疼痛は前にお話を致して置きました右腸骨窩の部位にあるのが一つの特徴であります。然し時としては反對に左の腸骨窩又は臍の周圍或は心窩の邊に疼痛を覺えることもありますけれども、後には必ず右腸骨窩の部に限局するものであります。この盲腸炎の疼痛は手で壓しても、脚を動かしても疼痛を增し、咳嗽をしたり怒責むだりしても强くなり、背部、脚の方にも放散くものであります。それで病人は自然右側を下にし、脚を縮めて靜にして居るものであります。

盲腸炎と云ひましても前に申します通り蟲様突出炎といふて、盲腸に附屬して居る蟲様突起といふものの炎症が本になつて居ることが九分通りでありまして、この根治療法としては外科的に蟲様突起を切除して仕舞ふのが原則であります。然し內科の方では先づ藥と養生法で治療致します。藥の方は醫師でなければ應用するわけにも參りませんが、盲腸炎の時には身體並に精神を安靜にして寢て居ることが何よりも大切であります。それから疼痛のある處に氷嚢を貼てる。又場合に依ては其部分に水蛭を二十匹ほどもつけることがあります。斯様なことも勿論醫師の指圖によるべきことであります。而して最初一日間は絶食し、只口の渴くときに氷を含み或は含嗽するだけにし、翌日から冷した牛乳、「ソップ」、重湯の如きものを少しづゝ用ひ、漸次疼痛も輕くなり、その他の危險も去れば粥のやうな半流動食とし、量も漸次增し、今まで氷罨法として居つたのを漸次溫罨法に更へると云ふのが通常の手當であります。

十二指腸潰瘍は食後二時間乃至五時間を過ぎて疼痛

が起り、殊に夜間空腹時に起ることが多いものでありまして、その時に少しく食物を與へれば一時疼痛はよくなりますが、又再び起つて參ります。而してその疼痛は灼くが如く刺すが如く、右の肩から背中の方まで放散致しまして、壓すれば却つて疼痛が增すものであります。治療も手當も胃潰瘍の場合と全く同じでありますから略します。

腸閉塞症と云ふものには急性、慢性、又輕重種々のものがありますが、これも激烈なる腹痛を發するものであります。この腹痛は持續性のこともあり、時時發作性のこともあり、一部分のことがあり、腹部全體に痛むこともあり、その他に鼓腸、嘔吐等の苦しい症狀があり患者は甚しく衰弱し、極めて危險な重症でありますから、勿論素人療治の限りではありません、只此症には常に激しい腹痛が起るといふことだけを申上げて置くに過ぎません。

尚ほ一つ腸より起る腹痛の例として擧げなければならぬのは腸の神經痛であります。腸神經痛は前にお話を致しました胃痙に相當するものでありまして、原因も略同一であります。主に神經衰弱、「ヒステリー」、麻拉里亞、脊髓癆、鉛中毒などの時に起りまして、急に劇烈なる腹痛を發し、病人は聲を出して苦しみながら轉輾反側、腹位になつて強く腹を壓へまして非常の重態に見えます。これが數分間或は數時間續きまして、その發作が病めば病人は平氣で、何處を風が吹くかと云ふやうな調子で全く健康であります。然しその發作の際には實際腹の筋肉が攣縮で硬くなり、反射的に惡心、嘔吐、吃逆、呼吸困難痙攣等を起すのであります。然し腹を強く壓しつけると疼痛が輕くなると云ふ所が神經症の特徴であります。この時には矢張り熱湯に浸した「タオル」を固くしぼつて腹に貼て效があります。醫師は先づ卽座に鎮痛藥を注射し或は飮ませますが、本病の方を治療することが大切であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

育兒

授乳の障碍

人は自分の子供を自分の乳房で養育するといふのはこれは當然のことで、是非さうなければなりませんが、これが種々の事情に依て障碍される場合があります。それに由てそれ〲榮養法を講じなければならぬのでありますが、先づ小兒の方に障碍の原因がある場合からお話致しますと

哺乳力の微弱

正規分娩の小兒が恰も早產兒の如く、授乳の始めに當りまして、甚だしく哺乳力が弱く又は哺乳に際して著しく懶惰なることがあります。かやうな小兒は乳嘴を啣ましめるも、弱い吸引運動をいたしました後哺乳を廢し、又はそのまゝ眠りまして、強い哺乳運動をいたすことがありません。かやうな狀態は或は間もなく止み或は又生後一週間にわたることもあります。

小兒が殆ど哺乳をいたしませんか、又は極めて僅の量しか哺乳いたしません時は、母乳を榨りまして哺乳罎に入れて與へるか、或は小匙を以て與ふるなりいたします。かやうに致しますれば、一方に於ては母乳の分泌の止まるのを防ぎ、他方に於ては一程度迄小兒の不及榮養を制限する事が出來ます。但しかやうな場合に輕度の不及榮養の在る事は害がありません、のみならず小兒の食慾を盛ならしめるために寧ろ必要の事であります。

然して榨りました母乳は、授乳時每に先づ必ず乳房より哺乳を試みまして、然る後を與ふるやうに致さねばなりません。但し此の時は母の乳房より多量の乳汁を採りますとも、小兒には多量に與へない方がよろしい。

多數の場合には、かやうに注意をして榮養して居り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ますれば、分泌の佳良なるに連れ、乳房より善く哺乳し得るやうになります。但し母乳の分泌の量が充分でない場合、即ち障碍が母子兩方に在る場合には容易に哺乳をいたすやうになるのは困難な事であります。

哺乳の力が微弱な場合に漫然哺乳の回數を増すのはよろしくない、唯だ甚しく不充分なる哺乳後、搾取ました母乳を與へましてもこれをいやがりて飲用いたさない場合に限り一日七回乃至八回となせば一日の全量を増すことが出來ます。然し哺乳後に搾取した乳を飲むことを拒否しない場合には哺乳回數を増さぬ方が子の爲にも母親の方にも利益であります。

乳房より哺乳する事を嫌ふ小兒

初生兒の初期にあつて、極めて稀に小兒が哺乳の力が弱く、又は食慾のないやうな事もなく、又母乳の量も不足でないにも係らず、乳房より哺乳する事を甚だしく嫌ふために食餌攝取の困難を來す事があります。かやうな小兒を強いて乳房から哺乳せしめやうとすれば甚しく啼泣し、顔を背け、靜に哺乳をしない事があります。

かやうな小兒に搾りました乳汁を哺乳罎より飲しますれば善く飲みつくすものであります、然しながらこの方法のみを用ゐるのはよろしくありません。かやうな小兒に於きましても、輕度の榮養不足は却て治療上最も必要であります。哺乳時の間三時間乃至四時間と致しまして、目的を達すると達せないとに係らず、必ず先づ乳房から哺乳さして見なければなりません、この際には先づ乳嘴を小兒の口にふくまし、同時に乳房を壓して乳汁を迸出しめるやうにいたさなければなりません。小兒の味覺神經は、大人と異り咽喉の方まで廣がり居りますから乳汁でこれらの部分を潤ほしますと、往々食慾を刺戟し、小兒の吸啜運動を起すことがあります。然して乳房から哺乳をさせました後、搾り取りました母乳或は番茶、又は湯を與ふるなりいたします、たゞ此際餘り多量に與へないやうに注意いたさねばなりま

せん。若し原因が乳房の構造にあるか又は乳の出かたが惡い場合にはこれこの原因を除去するやうにいたさねばなりませんが、かやうの原因のない場合には追々に良くなるものであります。

小兒がかやうな症狀を呈しました時には前述の如く乳房に注意をいたします外、小兒の身體の診察を受ける事を怠つてはなりません、殊に口腔は一層注意を要します、時としては口腔炎、上皮剝離などに罹つて痛みのある爲に小兒は哺乳を厭ふ事がよくあります、猶又注意せねばならぬのは、鼻加答があるために、哺乳の際に吸氣が困難になりまして、餘儀なく口でのみ呼吸をするやうになり、爲に哺乳を充分にしないやうな事もあります。

授乳の障碍が母にある場合

乳嘴の發育か不良の爲に甚だしく授乳障碍を來すことがあります、その結果小兒が高度の榮養不良に陷ることがあります。又全く授乳の出來ないものがあります、若し乳嘴の形が授乳の出來ないと同時に、乳腺實質も亦不良の場合には、授乳は迚もむづかしいと云はねばなりません。

乳嘴の畸形

一　乳嘴の小なるもの

二　分裂乳嘴、これは横に溝があつて乳嘴が上下二つに分れたるもの

三　疣狀乳嘴

四　陷沒乳嘴、これは乳暈內に乳嘴が陷沒して居るもの

乳嘴の形が授乳に適せない時にても、乳汁の分泌が良い場合には、乳嘴と同時に乳暈の一部も小兒に啣ましめる事によりまして、遂には授乳の出來るやうになる事が多くあります。但しこの際には母親も側の看護の者も非常な忍耐力を要します。

乳兒が乳嘴に吸ひ付き難い原因が、乳嘴の形のわるいためでなく、乳房の形のわるい方が却て尠くありません、例へば若い初めての產婦の乳房は往々ひどく緊張して居りまして、恰も潮の來りしが如く、そ

のため哺乳の時に乳嘴の支持を困難にいたします。又小さい乳嘴兒が非常に大きい乳房から哺乳いたします場合も、亦授乳の障碍を來すものであります。陷沒乳嘴の際によく用ゐられますのは、乳汁喞筒でありまして、乳汁を搾取るの事の外喞筒の牽引によりまして乳嘴を吸ひ出すの效があります。これは度〻行ふ方がよろしい。

乳嘴の裂傷

これは比較的屢〻起りまして、且つ最も多く授乳の障碍となりまして容易に治り難いものであります。裂傷は經產婦には稀でありまして、初產婦に發する事が多くあります、その形は或は線のやうな形をなして出血し、或は上皮は最も上が糜爛又は缺損いたしまして濕潤し終に肉芽を發生するやうになります。

哺乳の間には裂傷の出血も止みまして痂皮が出來ますが、再び哺乳の際に痂皮は剝れまして、又出血を來します、そして乳と共に嚥下せらるゝ血液の量は却々多量な事がありましてその嚥下した血液は小兒の糞便に混して排出さるゝたるに他の病氣と間違にことがあります。

この裂傷を確實に豫防し得る方法は遺憾ながらありませぬ。分娩の前に布に「アルコホル」をつけて乳嘴を摩拭さるなどによく用ゐらるる方法でありますがこれとても確に豫防し得ると云ふ譯にはまゐりませぬ。その他比較的よい方法と思れますのは、哺乳回數を嚴守いたしましたことゝ哺乳に際して乳嘴のみならず乳暈の一部も共に啣ましむることであります。

子供の眼（承前）

莊司秋次郎

前回は主として幼兒の眼の發育、視覺の發達並びに諸種の先天性異常に就て申上げましたが、今回はそれよりも稍〻成長して已に幼稚園又は小學校に通ふほどの年齡の子供に多く見る所の眼病に就て概略お

話を致して見度いと思ひます。

子供に一番多い眼病は何かと申しますと、所謂濾胞性結膜炎と云ふものでありませう。小學校の子供の眼を檢査致しますと先づ百人の中六十人位にこれを認めます。これは主として下眼瞼の裏、即ち結膜といふ部分に罌粟粒或は粟粒ほどのボロ／＼したものが出來るのでありまして、往々「トラホーム」の顆粒と混同されるものであります。併し大抵は別段の症狀も現はれず、子供は勿論、家の人も全く氣がつかずに居るのが普通であります。實際これは他に害を及ぼすこともなく、傳染も致しませんが、往々眼瞼が多少腫れて、眼脂が出て、眼球も赤くなり易い傾きがあります。これは一體に頸の細い虚弱な子供に多い、又塵埃の多い教場に居る生徒に多い。大した害もありませんが、なか／＼治癒し難いものであります。眼脂が出たり、眼球が赤くなつたりする場合には勿論治療をしなければなりませんが、空氣、光線、榮養等衛生上全般の注意が一番大切であります。

次に「トラホーム」これも小學校の生徒に非常に多い而かもこれは傳染する眼病で、その上一旦これに罹れば容易に治癒らない、而して長い間には逆睫毛が生えて來たり、黑眼に星が出來たり、雲がかゝつたりして甚しく視力を害するやうになるものであります。この爲に壯丁檢査にも不合格となるものが非常に多數で、我國の兵力、從つて平時の民力にも莫大の惡影響を及ぼしてゐる惡眼病であります。その爲に近來は學校では勿論、壯丁檢査前の者も特に「トラホーム」の有無を檢査して、これに罹つて居るものは嚴重に治療を施すことになりましたので、漸次成績が良くなつて參りましたが、なか／＼これを撲滅すると云ふ所までは行きません。斯樣な病氣が世界に稀なほど我國に多いと云ふのは決して自慢にはなりません、是非これを根絶しにすることに努めなければならぬのであります。それには各人皆この「トラホーム」と云ふ眼病の惡い眼病であると云ふことを承知して居つて、殊に小兒がこの眼病に罹つたな

らば、父兄が注意して、醫師が全治したと云ふまで飽までも治療を加へなければなりません。

專門の醫師でなければ「トラホーム」の診斷は下し難いものでありますけれども、ざつと申しますと、眼瞼の裏側、殊に上眼瞼の裏、卽ち眼瞼結膜と云ふ部分が赤くなつて厚くなつて粟粒のやうなぼろ〳〵したものが出來るのが特徵であります。併しこれは初の間は大抵氣がつきません、輕いもの、又は不注意な人は一生涯氣がつかずに濟むこともあります。けれども少し病氣が進むで來ますと、眼が澁かつたり、痒かつたりして、眼脂が出る、從つて霞むと云ふやうな障碍が起り、或は眼球の方も赤くなることがあります。これでも尙ほ療治を怠つて長くかまはずに置きますと眼瞼が段々厚く硬くなり、內の方に捲れ込むやうになり、逆睫毛が出來て眼の球を刺すやうになり、從つて角膜に潰瘍が出來る、又逆睫毛が刺さなくとも眼瞼の「トラホーム」が角膜の方まで蔓延て行つて眼球の白色の部分、卽ち眼球結膜と云ふ所も赤くなり、角膜にも雲がかゝり、星が出來、遂にはその爲に見えなくなります。必ずさうなるとは限りませんけれども、さうなり得るもので、實際これが爲に甚しく視力を損して一生涯恢復の出來なくなる人が尠なくありません。故に小兒に「トラホーム」のあることが發見されましたならば、この眼病の非常に頑固なものであると云ふことを承知して、病氣に負けずに飽くまで療治を加へるやうに致さねばなりません。「トラホーム」の治療には手術を施さなければならぬ場合が屢々ありますが、普通の人は一度手術を施せば、それで「トラホーム」は直ちに全治するものゝやうに考へる人が多い。併しこれは大間違でありまして、「トラホーム」の手術は決して外科醫者が、腐つた足を膝から下切斷して、それで治癒つたと云ふやうなわけには參りません。縱令手術に依て「トラホーム」の顆粒が悉く無くなりましても、粗糙になつたり、厚く硬くなつたりした結膜が略ば健康の狀態に近くなり、赤味も去り、眼脂などの出な

くなるまで療治を續けなければ、もう宜しいと云ふことは出來ないのであります。只藥だけでは五年もかゝらうと云ふ所を手術をすれば一年で治癒るといふやうな場合に手術をすることがあるのであります。故に手術をしても、その後の療法を繼續することが必要で、手術をしただけで療治を止めれば、折角の手術も甚だ效力の少ないものになつて仕舞ふのであります。

次に水泡性結膜炎と云ふものも、かなり小兒に多い眼病でありまして、角膜の緣に近い眼球結膜に一つ或は二つ又は三つ位星が出來て、赤くなるものであります。これは矢張腺病性の弱い子供に多いもので、一名腺病性結膜炎と云ふ名さへある位であります。これは適當な療治を施せば通常一週間位で治癒致しますが、時とすると角膜の周圍を珠數なりに星で圍むやうなことがあり、往々角膜の內にでも侵入して行くことがありますから、棄てゝ置くわけには參りません。

それから屢々榮養の不良い子供に見る結膜の病氣に乾燥症と云ふものがあります。これは眼球結膜の色が惡くなりまして段々下等な日本蠟燭のやうな色になり、妙に小皺が寄り、角膜の左と右で瞼裂に相當する部分に石鹼の滓、或は少し光ある豆腐の滓のやうなものが附著してゐるやうに見え、少しく暗い室又は暮方になると子供は急に見えないと云ふことを訴へ、頻に目をこするものであります。これが進めば角膜もどんより全體に曇つて、甚しくなれば丸で磨硝子のやうな色になり、破れて潰れるやうになります。角膜軟化症といふものであります。併しこれは斯樣に甚しくならぬ前に適當な治療を施し、榮養に注意すれば、暫時の間に治癒するものであります。

次には餘り多いものではありませんが、格魯布性結膜炎と云ふのが往々子供に參ります。これは眼瞼が腫れて分泌物が多くなり、結膜には灰白色の膜のやうなものが粘ばりつき、その分泌物も凝まり易く、往々血が混じります。誰が見ても輕くないことが分

かりますから、棄てゝ置くやうなことはありますまい。早く療治すれば割合によく治癒るものであります。

一寸これに似て、これよりは甚しく性質の悪いのは實扶的里性結膜炎と云ふものであります。これも時時小兒の眼を侵す。矢張眼瞼が赤く腫れ上り、分泌物が多くなつて、小兒は眼を開けなくなります。而して眼瞼結膜には一面に灰白色の膜が出來、後には黄色い膿が混じつて腐つたやうな不快な有樣になります。斯樣な時には小兒は熱を出し、甚しく衰弱致します。甚しい場合には元來弱い子供は死ぬることもあります。而してこれは角膜にも潰瘍が出來易く非常に危險な眼病であります。

右の格魯布性又は實扶的里性結膜炎は三四歳位の小兒に多いものでありますが、主として初生兒に來る所の恐るべき眼病に膿漏性結膜炎と云ふものがあります。これは大人の所謂風眼と同じもので、出生後一週間の内に起ることが多い、大抵産れるときに淋病の毒が眼に這入つて起るのであります。これも眼瞼が甚しく赤く腫れて膿混りの分泌物が盛に出るものであります。初生兒の膿漏眼は割合に大人よりも輕く濟むものがありますけれども、それでも子供の時から盲人になつたと云ふものは、この膿漏眼で失明したものが一番多いのであります。今日では豫防する爲に、産れたときに産婆が眼藥をさすことになつて居りますけれども、不完全と見えて、まだ今日でも屢々見受けられます。故に若し産後間もなく小兒の眼が腫れて膿が出るやうな場合には一刻も早く眼科醫の治療を受けるやうにしなければなりません。早ければ大抵失明するやうなことはありません。

（以下次號）

雜報

○看護婦養成所の指定

大正四年六月内務省令第九號看護婦規則第一條に依り地方長官の指定したる養成所左の如し。

三月十一日指定　日本赤十字社和歌山支部病院看護婦養成所
同　十五日指定　日本赤十字社青森支部救護員養成所(救護看護婦の部)
同　二十日指定　縣立神戸病院看護婦講習所
同　二十日指定　日本赤十字社兵庫支部姫路病院(救護看護婦の部)
三月二十一日指定　日本赤十字社香川支部病院看護婦養成所(救護看護婦の部)
同　二十二日指定　製鐵所附屬病院
同　二十八日指定　廣島縣看護婦養成所
同　二十九日指定　滋賀支部病院日本赤十字社(救護看護婦の部)
同　三十日指定　福岡縣若松市公立若松病院附屬看護婦養成所
同　三十一日指定(但し指定の效力は聽講生に及ばず)　山梨縣病院産婆看護婦養成所看護婦部
四月一日指定　恩賜財團濟生會病院
同　五日指定　鹿兒島縣立鹿兒島病院看護婦養成所
同　六日指定　日本赤十字社愛媛支部病院看護婦養成所
同　十三日指定　横濱市十全醫院看護婦養成所

○緬甸に聘せられたる二女醫

東京女子醫學專門學校にては今回英領緬甸の首都蘭貢に設立せらるゝ婦人専門病院の聘により其醫員として同校出身の女醫依田まつの子(二五)同菅野國榮子(二五)同湊政代子(三三)産婆兼看護婦稻垣よし子(三六)の四名を派遣する事となりしより去る十七日午後三時より同校大講堂に於て送別會を開き、各學年生校友會總代其他の送別の辭、校長の訓示、兩女史の謝辭あり、それより食堂を開き一行の健康を祝し、能舞、和洋音樂合奏等の餘興あり同八時頃散會したるが、出席者は來賓、同校出身者、生徒數百名にて頗る盛會なりしと、尚ほ右一行は去る十九日東京出發、二十一日神戸出帆の古倫母丸にて渡航の途に上る由

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なり。

○日本「トラホーム」豫防協會

我國の兵力を殺ぎ、教育の完全を妨げ、國家の生産力を害しつゝある惡眼病「トラホーム」豫防撲滅の目的を以て日本「トラホーム」豫防協會なるもの設立せられ、本月一日東京帝國大學法醫學教室講堂に於て其の發會式を擧げ、河本博士の開會の辭に次ぎ内務大臣及び文部大臣其他の祝辭、澤柳教育會長、町田盲學校長、保利博士等の演説ありたるが、何人の説に聽くも本病の豫防撲滅には單に官邊の施設、眼科醫の努力のみならず。一般民衆の理解協力に俟つこと大なり。同協會細則の一部分を示せば左の如し。

第一條　本會規則第二條ノ目的(「トラホーム」ノ豫防絶滅ヲ圖ル)ヲ遂行スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、「トラホーム」ニ對スル適確ナル豫防方法ヲ攻究シ之ガ統一的實施ヲ期スル事
二、學校工場又ハ必要ノ場所ニ於ケル「トラホーム」豫防施設ノ勵行ヲ期スル事
三、「トラホーム」豫防ニ關スル公私ノ團體ト連絡ヲ圖ル事
四、必要ニ應ジ「トラホーム」豫防ニ關スル公私ノ施設ヲ補助スル事
五、「トラホーム」講習會ヲ開催スル事
六、「トラホーム」ニ關スル通俗的印刷物ヲ頒布シ又ハ通俗「トラホーム」講話會ヲ開催スル事
七、必要ニ應ジ「トラホーム」ノ檢診又ハ治療ニ關スル設備ヲ爲ス事
八、「トラホーム」豫防ニ關スル法規ノ制度ヲ期スル事
九、每年四回以上會誌ヲ發行シ之ヲ會員ニ配布スル事
十、前各號ノ場合「トラホーム」豫防ニ關スル必要ノ事業

廣告

○入會

○事務所申込

●共立女子職業學校内　通常　堀江キサ子
●四日市高等女學校内　通常　新庄品子
●府下大崎町谷山二四九　通常　長谷川きよ子

○岡田德子紹介

●府下千駄ケ谷原宿　特別　中川貞子

○澤井とみ子紹介

●小石川區金富町四〇　特別　志村直子

○資格變更

通常會員ヨリ特別會員ニ　新井壽美子

○轉居

横須賀ヨリ高知市鷹匠町三七ヘ　杉本清美子
兵庫ヨリ府下千駄ケ谷町八九六野口氏ユカ氏方ヘ　野口りよう子
小石川ヨリ麹町區飯田町五ノ二三ヘ　森井きぬ子
神戸ヨリ芝區汐留鐵道官舍第五十號ヘ　長谷川てう子
茨城ヨリ茨城縣鹿島郡鹿島町大字宮中ヘ　布施正顯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衞生會役員氏名

總裁 東伏見宮妃周子殿下
會長 侯爵夫人 鍋島榮子
副會長 男爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

幹事 鳩山春子　同 長谷川仲子
同 岡田德子　同 高木鐐子
同 山本多穗子　同 三浦敎子
同 松平芳子
評議員 羽田三緖子　同 濱田拾子
同 服部繁子　同 仁禮壽賀子
同 西弁子　同 土肥多越子
同 緒方悅子　同 岡山とし子
同 小川孝子　同 男爵夫人 加藤鈴子
同 片山龜子　同 丹波貞子
同 高橋孝子　同 田村きよ子
同 鵜原誠子　同 男爵夫人 南部隈子
同 中濱芳子　同 山口貞子
同 子爵夫人 松井正子　同 古市幸子
同 小松いさ子　同 伯爵夫人 阿部篤子
同 天野多喜子　同 岸澄子
同 菊池峯子　同 三宅藤子
同 宮本樂子　同 宮下咲子
同 守屋千代子

婦人衞生雜誌代價及廣告料

代價

一冊 定價金貳拾錢 郵稅壹錢
三冊（三ヶ月分） 前金郵稅共 金四拾五錢
十二冊（一ヶ年分） 前金郵稅共 金壹圓八拾錢

廣告料

一頁六十二行 一行二十三字
壹頁金五圓 半頁金貳圓五拾錢
○特別廣告 壹頁金拾圓 半頁金五圓
○半頁以下行數ヲ以テ計算スルモノハ一行貳拾五錢

規定

○本誌講讀申込ノ節ハ前金三ヶ月分以上本會事務所宛ニ送附セラルベシ但シ見本ハ郵券ニテ貳拾壹錢代用苦シカラズ○本誌休讀ノ節ハ速カニ報知セラルベシ通知ナキ分ハ講讀者ト見做ス但シ後金ニハ割引ナシ○轉居ノ節ハ新舊宿所通知セラレタシ

大正五年四月二十二日印刷
大正五年四月二十五日發行

編輯者兼發行者 東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地 菲司秋次郎
印刷者 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 櫻井新三郎
印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 杏林舍

發行所 私立大日本婦人衞生會事務所
東京市麴町區富士見町二丁目三十二番地

賣捌所
東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂
同市銀座四丁目 東海堂
同市京橋區鎗屋町 眞明堂
同市本郷區本富士町 明文館
同市同區春木町 南江堂支店
京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京市日本橋區吳服町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本郷區本富士町 盛春堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吉村博士發見
祛痰鎭咳新劑

ブロチン
BROCIN

100錠 ￥0.90

ブロチンは醫學博士吉村喜作先生の發見に係る最新劑にして本邦產 Rosaceae 中 Prunus 屬植物より抽出したるものなり祛痰鎭咳の作用顯著にして從來の祛痰劑の如く粘膜を刺戟せず又不快の味なきに由り小兒も好で服用す、加ふるに食慾不振、嘔氣嘔吐等の胃腸障害其他の忌むべき若くは危險なる副作用を伴はざるは本劑の特長なり。

適應症。急性、慢性の呼吸器疾患にして咳嗽咯痰を伴ふ諸症、例へば肺結核、喉頭結核、氣管支炎、喘息、百日咳等。

用量。大人は一日三・〇—六・〇瓦、錠劑（一錠〇・五）六—十二錠、尙增量するも可なり。小兒一歲は一日〇・五—一・〇、一歲以上一日一・〇—三・〇。

用法。用事熱湯又は溫湯に溶解して與へ又は水劑として處方せられたし。

東京室町三丁目
三共株式會社

前年高峰博士ニ依リ東京ニ本劑ノ製造分工場設置セラレ今ヤ全然內地製品ヲ供給スルニ至レリ
本劑ハ類似模造品ト異リ强度一定ニシテ又效力永ク不變ノ性質ヲ具有ス。
類似品製造者ノ誇大ナル廣告ヲ排シタカヂアスターゼト指定ヲ乞フ。
本劑ハ粉末及錠劑ノ二種アリ。

タカヂアスターゼ

東京室町三丁目
三共株式會社

婦人衛生雜誌第三百十七號（大正五年四月二十五日發行） 明治四十三年十二月一日第三種郵便物認可（毎月一回廿日發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN